J A ふ じ 伊 豆 韮山営農経済センター

第5回(8/4号)

水稲病害虫発生予察の結果について

①生育状況

生育状況は、昨年並みに少し早い傾向にあります。全ての地区で幼穂形成は確認でき、韮山地区では幼穂1.0~2.0mm、長岡地区江間、大仁地区白山堂で2.7~4.0mm、大仁地区小坂、天野で1.1cm、大仁地区神島では3.6cmでした。天候等による影響もありますが、下記の【幼穂長と出穂前日数の目安】を参考にしていただき、幼穂の生育から出穂時期を予測し、穂肥等の管理作業を行いましょう。

山間地の田原野地区、浮橋地区では開花期から乳熟期になりました。この時期は水分を最も必要とする時期となりますので、水を切らさない十分な水量の確保をしましょう。

②病害虫状况

今回の予察では、ヨコバイ、夏ウンカの発生は確認されましたが、防除の必要となる発生量ではありませんでした。

カメムシの発生は確認できませんでしたが、県の病害虫防除所の予察結果では県内全域で平年比約4倍のカメムシの発生量が報告されています。

出穂を迎える地区では畦畔雑草の除草は、10日前までには行い畦畔からの水田への飛び込みを防ぎましょう。

穂肥

- ○全農化成17-0-17を施用する場合 2,560円/1袋(20kg)
- 1回目 出穂20日前 10kg/10 a 2回目 出穂10日前 10kg/10 a
- I B 4 号を施用する場合 4,410円/1袋(20kg)

出穂20日前 20kg/10 a

※ナイスワンパワー等一発肥料を施用した方は、基本的に穂肥の必要はございません。

【幼穂長と出穂前日数の目安】

出穂前日数	幼穂長
30日	0.2mm
25日	1.5mm
20日	5.0mm

出穗前日数	幼穂長
18日	1.0cm
15日	2.5cm
12日	8.0cm

問い合わせ: 韮山営農経済センター 勝又・佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆のホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。